



ジョブの実行

ここでは、次の内容について説明します。

- [ジョブの実行 \(1 ページ\)](#)
- [ジョブステータスの確認 \(4 ページ\)](#)
- [ジョブの結果の確認 \(4 ページ\)](#)
- [ジョブの再実行 \(4 ページ\)](#)
- [ジョブのキャンセル \(6 ページ\)](#)

ジョブの実行

ここでは、CWM を介してジョブ（ワークフロー実行）を実行する方法について説明します。

始める前に

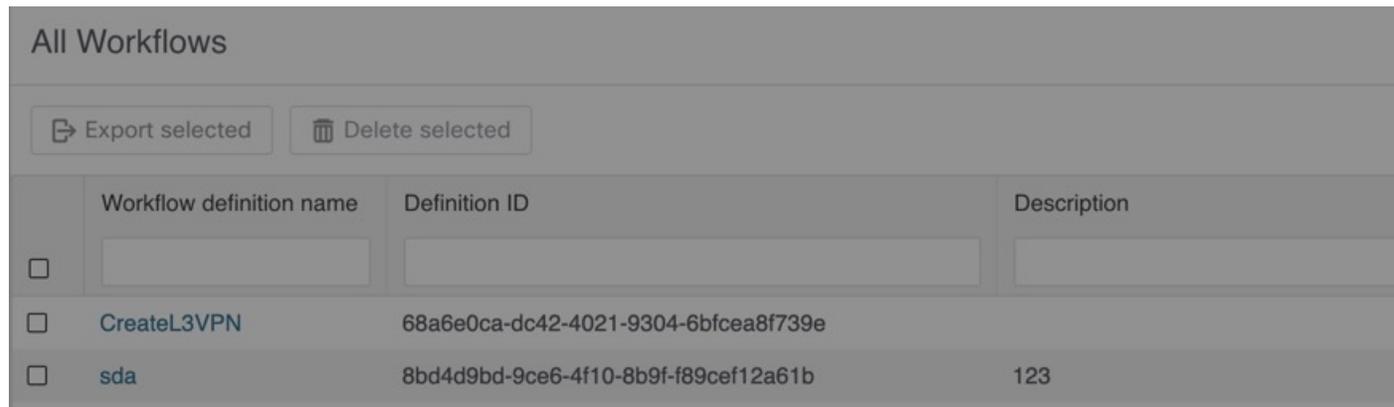
次が必要です。

- ワークフロー定義が CWM に保存され、[すべてのワークフロー (All Workflows)] タブに表示されている。
- ワーカーとともにアダプタをアップロードしている。

ステップ 1 CWM で、[ワークフロー (Workflows)] -> [すべてのワークフロー (All Workflows)] タブに移動します。

a) 実行するワークフローを選択し、[アクション (Actions)] 列で [実行 (Run)] をクリックします。

図 1: ジョブの実行ボタン



The screenshot shows a web interface titled "All Workflows". At the top, there are two buttons: "Export selected" and "Delete selected". Below these is a table with three columns: "Workflow definition name", "Definition ID", and "Description". The table contains three rows, each with a checkbox in the first column. The second row has the name "CreateL3VPN", ID "68a6e0ca-dc42-4021-9304-6bfcea8f739e", and an empty description. The third row has the name "sda", ID "8bd4d9bd-9ce6-4f10-8b9f-f89cef12a61b", and description "123".

	Workflow definition name	Definition ID	Description
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	CreateL3VPN	68a6e0ca-dc42-4021-9304-6bfcea8f739e	
<input type="checkbox"/>	sda	8bd4d9bd-9ce6-4f10-8b9f-f89cef12a61b	123

- ステップ 2** [ジョブの実行 (Run Job)] モーダルで、[ジョブ変数 (Job variables)] フィールドに初期のワークフローデータ入力を挿入します。
- ステップ 3** デフォルトでは、ジョブの名前はワークフロー定義と同じですが、[ジョブ名 (Job name)] フィールドで変更できます。
- ステップ 4** [ジョブの実行 (Run Job)] をクリックして、ワークフローの実行を開始します。

図 2: ジョブの実行

Run job

Job name*

Workflow definition name

Definition ID

Start user

Job variables*



```
{  
  "device0Name": "ce0",  
  "device1Name": "ce1",  
  "nsoResource": "NSOLocal"  
}
```

ジョブステータスの確認

ステップ1 [Job Manager] -> [すべてのジョブ (All Jobs)] タブに移動します。

ステップ2 [すべてのジョブ (All jobs)] テーブルでジョブを見つけ、[ステータス (Status)] 列でワークフロー実行のステータスを確認します。

- a) ワークフローが正しく実行された場合は、チェックマークが付いた緑色の丸いアイコンと、[完了 (Completed)] ステータスが表示されます。
- b) ワークフロー実行がまだ進行中の場合、またはワークフローエンジンがアクションを再試行している場合は、3つのドットが付いた青色の丸いアイコンと、[実行中 (Running)] ステータスが表示されます。
- c) ワークフローの実行が失敗した場合は、感嘆符の付いた赤色の丸いアイコンと [失敗 (Failed)] ステータスが表示されます。

ジョブの結果の確認

ステップ1 ジョブ名をクリックして詳細を入力します。

ステップ2 [ジョブイベントログ (Job Event Log)] テーブルで、プラス記号のアイコンをクリックすると、すべてのイベントエントリを展開できます。

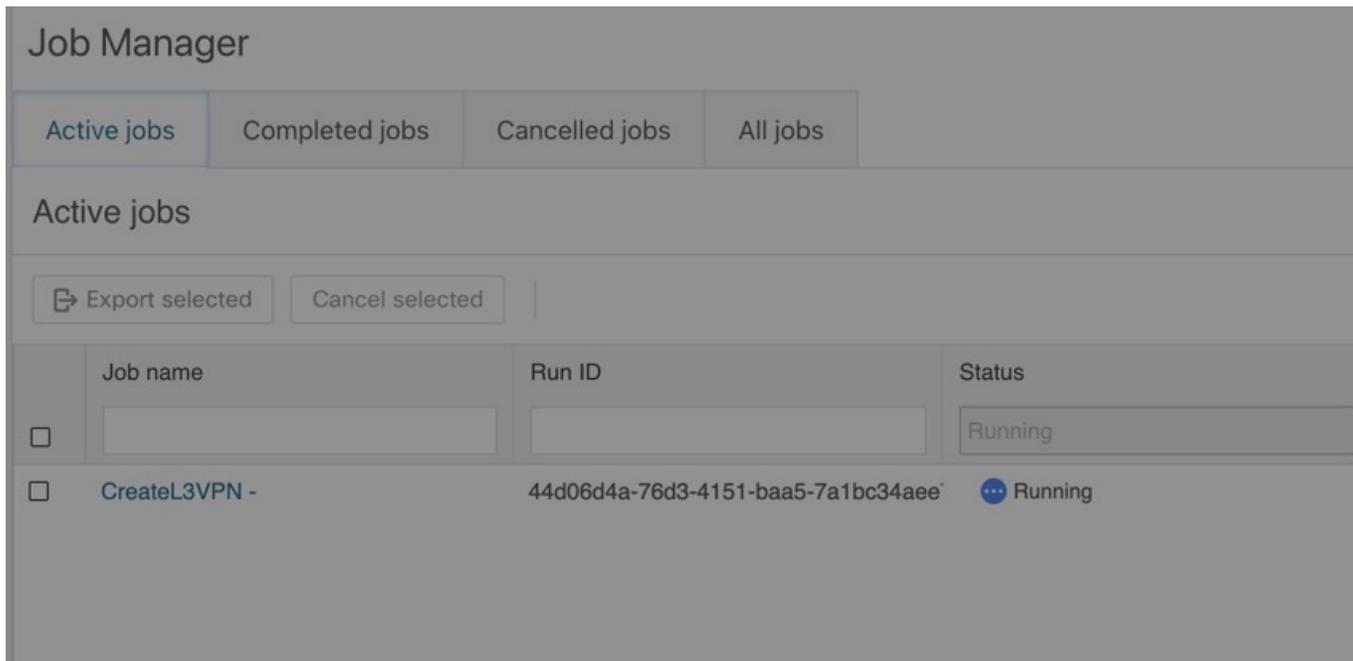
ステップ3 実行の結果を確認するには、テーブルの下部にある **WorkflowExecution** エントリを展開します。結果に応じて、ジョブイベントタイプが異なる場合があります (例: WorkflowExecutionCompleted または WorkflowExecutionFailed) 。

ジョブの再実行

ステップ1 [Job Manager] -> [すべてのジョブ (All jobs)] タブに移動します。

ステップ2 [すべてのジョブ (All jobs)] テーブルで、再実行するジョブを見つけ、その行の [アクション (Actions)] 列にある [再実行 (Rerun)] ボタンをクリックします。

図 3: ジョブの再実行ボタン



ステップ 3 [ジョブの再実行 (Rerun job)] モーダルでは、ジョブ名とジョブ変数（データ入力）を編集できます。または、前の実行と同じ値を使用できます。

図 4: ジョブの再実行

Rerun job

Job name*

CreateL3VPN -

Workflow definition name

CreateL3VPN

Definition ID

072f1a6f-933c-4888-90b8-418079379197

Start user

Job variables*

```
{  
  "device0Name": "ce0",  
  "device1Name": "ce2",  
  "nsoResource": "NSOLocal"  
}
```

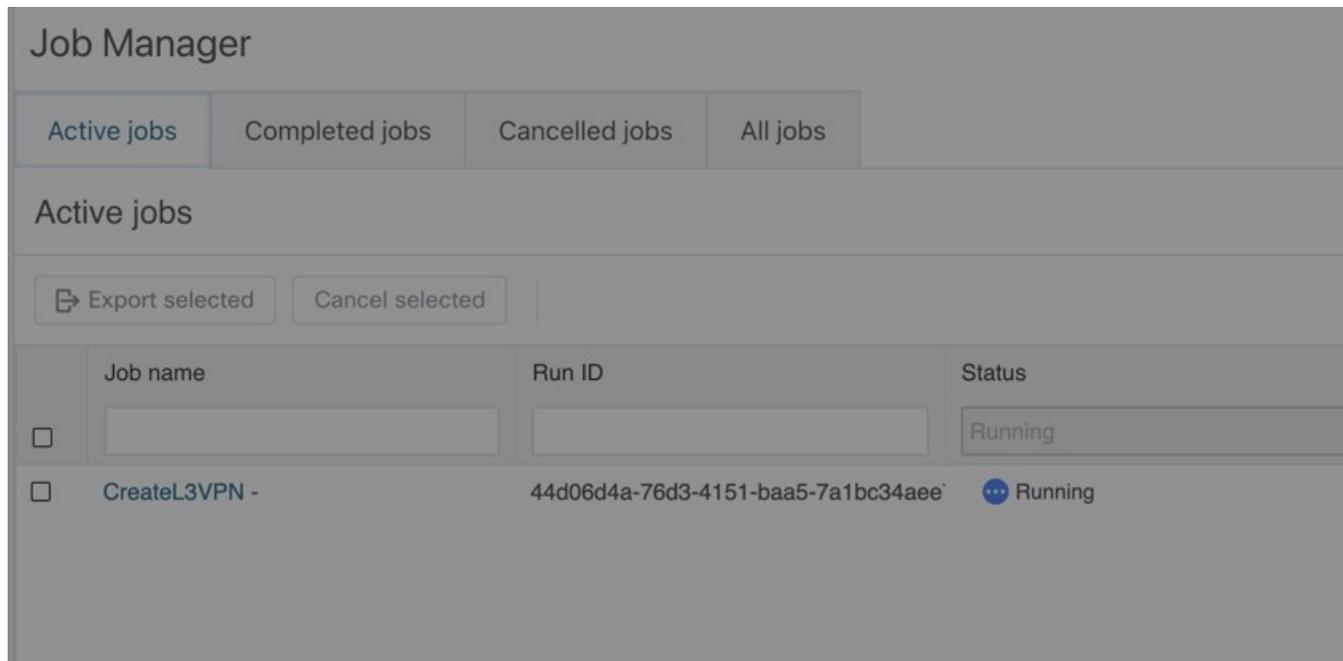
ステップ 4 [ジョブの実行 (Run Job)] をクリックします。

ジョブのキャンセル

ステップ 1 [Job Manager] -> [アクティブなジョブ (Active jobs)] タブに移動します。

ステップ2 [アクティブなジョブ (Active jobs)] テーブルでキャンセルするジョブを見つけ、その行の [アクション (Actions)] 列にある [キャンセル (Cancel)] ボタンをクリックします。

図 5: ジョブのキャンセルボタン



ステップ3 [ジョブのキャンセル (Cancel Job)] モーダルでは、オプションでキャンセルの理由を入力できます。

ステップ4 実行中のジョブをすぐにキャンセルする場合は、[強制終了 (ForceTerminate)] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオフのままにすると、ワークフローワーカーはワークフロー定義の進行中のタスクの実行を完了してから、ジョブをキャンセルします。

図 6: ジョブのキャンセル

Cancel job

Are you sure you want to cancel the selected job?

Job name / Run ID

CreateL3VPN - / 90e49deb-df15-4a14-9c9d-dde88ed6e683

Reason

Force terminate



ステップ 5 [ジョブのキャンセル (Cancel Job)] をクリックします。

ジョブの [詳細 (Details)] タブからジョブをキャンセルすることもできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。